



すずしろ 22 2017 9 月報

発行責任者 合津秀雄
080 1351 4860

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

『 援 農 』 活 動 状 況

8 月は雨もようの日々が つづきました。すずしろ22にとりましての夏の風物詩 : ブルーベリー・食用桑の収穫も おかげさまで 一段落となりました。援農作業への参加 おつかれさま ありがとうございます。

8 月 の 援 農 状 況

援 農 時 間	1628 時間	[昨年同月 1839 時間]
受 入 農 家	19 軒	[19 軒]
参 加 会 員	59 人	[62 人]



キャベツ苗の定植

援農体験記

援農体験記 (入会の御挨拶)

南大沢 水上昭太郎

同じ団地内にお住まいの青山様からお声をお掛け頂いて入会しました「水上昭太郎」です。私は市内の准高齢男女が愛好するニュースポーツ団体の八王子市ターゲット・バードゴルフ協会で多くのスポーツ愛好仲間と競技をしながら楽しく活動させて頂いています。

入会の切っ掛けは 活動の傍ら、市内公園の草刈り作業をボランティアで行っており、その次いでに団地内の雑草の草刈りを 青山様に見られたことが 入会につながったものと思っています。

ターゲット・バードゴルフを優先しながら、8月から小比企の鈴木様の農園作業をお手伝いしています。

慣れない農作業ですが農家様のご指導を仰ぎながら、ボランティア精神でお手伝いをさせて頂くつもりです。会員の皆様、宜しくお願い致します。



農園だより

畑の有るしあわせ

コスモスファーム
本田和子

三年前 私は自分で野菜を 育ててみたくて畑をさがしていました。ネットで検索したり 友達に聞いたり 雑誌をみたりしましたが 近くて 安くて ある程度の広さがあり 自然農に興味があったので草を生やす事が可能である という自分なりの条件に合う畑は全く見つからず “ ハタケー ” と喉から手が出そうな感じで 渴望していたのです。

そんな時です ウォーキングの途中で すずしろさんの 市民農園募集のポスターが目飛び込んできたのです。 “ ヤッター ” 奇跡。

畑を借りることが出来てからは あれもこれもこれも育ててみたいという思いで もう夢中で畑に通い うまく育っても育たなくても 楽しくて 畑の有る暮らし満喫させて頂いている日々です。 感謝。

恩方中学校の向かい側の路地を歩いていくと、大きなビニールハウスがあります。そのハウスの裏手に番場さん宅があります。援農作業をしながらお話を伺いました。

最初の作業はジャンボピーマン、大きめ茄子、ミニトマト、胡瓜の収穫。

マーケットに並ぶ普通のピーマンの2倍ほどの大きさのピーマン。

飲食店が肉詰め用に買っていきそうです。大きくても柔らかくて美味しそうです。茄子と胡瓜は収穫最終期です。

これからの収穫野菜は隠元、人参、長葱などが始まるそうです。

白菜や、レタス等葉物野菜もポットへの植え付けをしていました。

番場さんの農園では 少しずつ 沢山の種類の野菜を栽培しています。

納品先は狭間のイトーヨーカ堂や道の駅、学校給食などだそうです。

ヨーカ堂では、番場さんのお名前を探して買おうと思います。

番場正敏さんは
40歳代

人参・ピーマン畑

パッションフルーツの花

花粉を雌しべに付ける作業もしました。しっかり付けるとこんなに大きな実ができ 半分に割って種ごと中身をグラスに入れ、炭酸水と氷を入れれば香高いジュース。炭酸水と焼酎を入れれば、爽やかな香り高いパッションフルーツサワーの出来上がり！帰宅後、シャワーを浴びて、最高の気分で頂きました！

パッションフルーツの栽培

高月の石川耕平さんに苗を頂いて栽培を始めたそうです。まだ、栽培1年目で、試験的に行っているの、販売していないそうです。来年から本格的に栽培を始めるそうです。

パッションフルーツは高月地区の石川耕平さん、石川稔さん達の若手グループが力を入れて栽培をしています。ピューレ、ジュース、ワインなど、加工品も絶品！私は八王子パッションフルーツの大ファンです。

すずしろ22に関して

固定で2~3名の男性が入っています。夏場はスポットで数名。「すずしろ22メンバーのおかげで、収穫まで順調に作業ができるようになった。存在無しでは考えられない。本当に助かっています」とのことでした。

8月度 定例理事会より

8月18日 由井市民センター

- | | |
|--------------|-------------------------------------|
| ① 傷害保険の適用 | お二方の被害状況について報告 保険適用の申請と承認 |
| ② 新加入メンバーの動向 | 今年入会いただいた方々の活動紹介 |
| ③ 援農活動 | 農家別の特記事項 7月実績値 1933h (昨年同月 1921h) |
| ④ 市民農園の運営 | 草刈り応援のルーチン化 堆肥小屋づくり案の検討 |
| ⑤ 新規農園の開設 | 物件紹介 農家の意向をフォロー |
| ⑥ 野菜販売 | 会のPRと人材募集の場 としてもとりくみ |
| ⑦ 各種イベントの確認 | 「アルガ ヌトワラ」講習とお茶会 いちよう祭り 「マルエ」での販売 等 |

事務局からの お知らせ

人材 - 農家需要 と 市民意欲のマッチング

(1) 中秋の名月 今年は 10月4日

トンボの飛び姿が見受けられるようになりました。夕方の畑では 早くも虫の鳴き声が聞こえてきます。季節の移ろいを実感させられます。 援農参加 お待ちしています。

(2) 引き続いての 会員の募集

農家会員の人材要望にこたえるため 新規会員の募集に努めています。各種イベントの場の利用・地域広報紙への依頼(検討中)。会員各位よりの知人紹介も大歓迎です。

(3) いちよう祭り『わくわく広場』への 参加

今年 いちよう祭りは11/18 19の両日開催されます。長房市民センター地区での『わくわく広場』に当会も参加して 野菜花卉販売・会員募集活動を計画しています。